

NO. 3 事業名 森林基幹道開設事業（国補）

箇所・地区名 しおだいらとくわ
塩平徳和線

平成20年度 公共事業等再評価調書

1. 再評価調書

(区分) **国補** 県単

事業名	森林基幹道開設事業 (国補)			箇所・地区名	塩平徳和線	所在地	山梨市牧丘町北原・山梨市三富徳和	事業主体	山梨県														
当	計画期間	S61 ~ H25	変更後	計画期間	—	⑤再評価時の評価状況〔見直し継続〕 予定どおり完成できるよう状況に応じ林道の規格・構造を見直し、コスト削減を図るとともに、時間管理上影響の出ないよう、森林所有者の合意を早期に得る事業の進め方に見直しした上で継続する。(H15再評価時)																	
初	総事業費	2,574 百万円	総事業費	5,138 百万円	今回見直し予定																		
(1) 事業の概要																							
①事業目的及び効果 本路線は、山梨市牧丘町の鼓川流域と琴川流域及び山梨市三富の徳和川流域の広大な森林地域を管理経営する骨格的林道であり、起点は県道塩平窪平線に、終点は県道乾徳山線に接続し、山梨市牧丘町塩平地区から杓口地区を経て山梨市三富徳和地区を連絡する。 本路線の利用区域は1,334haであり、スギ・ヒノキ・カラマツ等の人工林面積は1,066haで、人工林率は79.9%となっている。このうち20年生以下の整備が必要な若齢林分は202haである。 将来、幹線である本路線と既設林道（小櫛山線、小倉山線）が支線として有機的に結合し、広域的な林道ネットワークが形成されれば、1,334haという森林利用区域の豊富な森林資源を効率的に利用することができる。 さらに、森林の整備による水資源のかん養と国土保全、保健休養の場としての公益的機能が向上するとともに、山村地域の振興を図ることができる。																							
②事業概要 森林基幹道 計画延長 21,600m 幅員 5.0m 利用区域面積 1,334ha 森林資源蓄積量 143,317m ³																							
③全体計画 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成19年度以前</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>11,580</td> <td>650</td> <td>9,370</td> </tr> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>3,020</td> <td>170</td> <td>1,948</td> </tr> </tbody> </table>											平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降	延長 (m)	11,580	650	9,370	事業費(百万円)	3,020	170	1,948		
	平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降																				
延長 (m)	11,580	650	9,370																				
事業費(百万円)	3,020	170	1,948																				
④特記事項 本路線は、昭和61年度に林道開設事業の事業採択を受け、「山梨県営生活関連林道開設事業実施要綱」に基づき県代行工事により実施中である。山梨市牧丘町と山梨市三富の奥地に点在する集落を結び、さらに県道と林道を連絡し地域の動脈となり、路線の一部は北部山岳道路のクリスタルラインを形成し、観光面でも地元の期待が強い。																							
(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕																							
①地域・住民の意向状況（山梨市） 当該林道は連絡線形であり、完成後は林業経営及び山村地域の活性化に重要な役割を果たすものとして期待されており、事業の促進要望が寄せられている。(H20.5.13 山梨市長から文書による意見聴取)																							
②産業・経済情勢 なし。																							
③国等の方針変更 なし。																							
④上位計画・関連事業計画等の変更 ・山梨県林道網整備計画（平成17年3月） ・富士川上流地域森林計画（平成19～28年度）																							
⑤自然環境条件等の変化 なし。																							
⑥その他 なし。																							
(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕																							
<table style="width:100%;"> <tr> <td>・事業採択時計画における事業全体B/C</td> <td>未算出</td> </tr> <tr> <td>・再評価時計画における事業全体B/C</td> <td>未算出</td> </tr> <tr> <td>・再々評価時計画における事業全体B/C</td> <td>1.11</td> </tr> <tr> <td>・再々々評価時計画における事業全体B/C</td> <td>1.17</td> </tr> <tr> <td>7,254,360千円(効果額) ÷ 6,217,764千円(費用計)</td> <td>= 1.17</td> </tr> <tr> <td colspan="2">林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業採択基準値 1.00 以上</td> </tr> </table>										・事業採択時計画における事業全体B/C	未算出	・再評価時計画における事業全体B/C	未算出	・再々評価時計画における事業全体B/C	1.11	・再々々評価時計画における事業全体B/C	1.17	7,254,360千円(効果額) ÷ 6,217,764千円(費用計)	= 1.17	林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出。		事業採択基準値 1.00 以上	
・事業採択時計画における事業全体B/C	未算出																						
・再評価時計画における事業全体B/C	未算出																						
・再々評価時計画における事業全体B/C	1.11																						
・再々々評価時計画における事業全体B/C	1.17																						
7,254,360千円(効果額) ÷ 6,217,764千円(費用計)	= 1.17																						
林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出。																							
事業採択基準値 1.00 以上																							

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①計画変更等の概要 事業実施にあたり一部の森林所有者の異議申し立てにより、路線変更を余儀なくされたことと、地形地質が悪く法面保護工等に経費を要したため、平成14年度に全体計画延長及び全体事業費を次のとおり変更した。 当初：全体計画延長 19,550m 事業費 2,574百万円 変更：全体計画延長 21,600m 事業費 5,138百万円</p> <p>②施工済みの事業内容 全体計画のとおり</p> <p>③進捗率 (整備済計 12,230m / 全体 21,600m)</p> <table border="1" data-bbox="237 675 1059 810"> <tr> <td></td> <td>H15*</td> <td>H16</td> <td>H17</td> <td>H18</td> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>64</td> <td>68</td> <td>71</td> <td>75</td> <td>79</td> <td>82</td> <td>86</td> <td>89</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>46</td> <td>48</td> <td>49</td> <td>51</td> <td>54</td> <td>57</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="237 836 669 973"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>算出方法</td> </tr> <tr> <td>96</td> <td>100</td> <td>過年数/計画年数×100</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>施済延長/計画延長×100</td> </tr> </table> <p>*再々評価の実施年度 (H20は見込み)</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 当路線は、塩平工区(起点側)及び徳和工区(終点側)と杣口集落から東西への杣口東西工区の合わせて4工区で着手した。また、平成13年度には、早期完成を図るべく小檜山作業道を利用した小檜山東工区を新設し工事を進めてきた。しかし、徳和工区及び杣口東工区が用地交渉に時間を要しているため、現在は3工区による施工となっている。また、塩平工区の橋梁施工により、進捗が遅れたため。</p>		H15*	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	計画	64	68	71	75	79	82	86	89	93	実績	46	48	49	51	54	57	—	—	—	H24	H25	算出方法	96	100	過年数/計画年数×100	—	—	施済延長/計画延長×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 杣口東工区、徳和工区における事業用地の確保。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み 全体計画を次のとおり区分し、現在工事を進めている西区間を第1期計画として新たに小檜山東工区からも着手し平成25年までの完成を図る。また、用地交渉が難航している東区間については第2期計画として、引き続き山梨市との連携を強化し、早期解決に努め、見込みが立った時点で事業着手の判断をしたい。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性 計画区間の見直し</p> <table border="1" data-bbox="1151 646 1973 783"> <tr> <td>第1期計画</td> <td>全体計画延長</td> <td>残延長</td> <td>全体事業費</td> <td>残事業費</td> </tr> <tr> <td>西区間</td> <td>14,330 m</td> <td>5,217 m</td> <td>3,600 百万円</td> <td>1,167 百万円</td> </tr> <tr> <td>第2期計画</td> <td>全体計画延長</td> <td>残延長</td> <td>全体事業費</td> <td>残事業費</td> </tr> <tr> <td>東区間</td> <td>7,270 m</td> <td>4,153 m</td> <td>1,538 百万円</td> <td>781 百万円</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>21,600 m</td> <td>9,370 m</td> <td>5,138 百万円</td> <td>1,948 百万円</td> </tr> </table> <p>(5) 評価項目 [コスト縮減の可能性] 地形に合った平面・縦断線形をとり、切盛土量の均衡、及び法面、路側構造物等を縮小する。また急峻な地形においては路肩の縮減を行うなど、総合的なコスト縮減に努める。</p> <p>(6) 評価項目 [代替案立案の可能性] 事業の目的を達成するためには当路線の開設以外に方策はない。</p> <p>(7) 所管部の今後の方針 継続 ◀見直し継続▶ ・ その他()</p> <p>本路線は生活関連林道であり、地元からの開設要望も強い。森林整備のみならず地域の振興・活性化等にも効果発揮が期待されるため、西区間の第1期分について、コスト縮減に努めながら、事業期間内の完成を図る。また、東区間の第2期分については、見込みが立った時点で改めて事業着手の判断をしたい。</p>	第1期計画	全体計画延長	残延長	全体事業費	残事業費	西区間	14,330 m	5,217 m	3,600 百万円	1,167 百万円	第2期計画	全体計画延長	残延長	全体事業費	残事業費	東区間	7,270 m	4,153 m	1,538 百万円	781 百万円	全体	21,600 m	9,370 m	5,138 百万円	1,948 百万円
	H15*	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23																																																								
計画	64	68	71	75	79	82	86	89	93																																																								
実績	46	48	49	51	54	57	—	—	—																																																								
H24	H25	算出方法																																																															
96	100	過年数/計画年数×100																																																															
—	—	施済延長/計画延長×100																																																															
第1期計画	全体計画延長	残延長	全体事業費	残事業費																																																													
西区間	14,330 m	5,217 m	3,600 百万円	1,167 百万円																																																													
第2期計画	全体計画延長	残延長	全体事業費	残事業費																																																													
東区間	7,270 m	4,153 m	1,538 百万円	781 百万円																																																													
全体	21,600 m	9,370 m	5,138 百万円	1,948 百万円																																																													

省略

3. 添付資料シート(1)

□現況等写真



計画地遠景



林道沿線の造林地状況

3. 添付資料シート(2)

□現況等写真



林道沿線の森林整備状況



要整備森林状況